

## 「スポーツ立県福岡」の実現を目指す! オリンピック後も、福岡県で大規模スポーツ大会が続々開催されます

福岡県では、県民のスポーツ活動を活性化することにより地域に活力をもたらし、スポーツの力により活性化した地域がさらにスポーツを支援できる力を發揮するというような好循環が県内各地で生み出され、スポーツの力で県民生活をより豊かに、より元気にする「スポーツ立県福岡」の実現を目指しています。

### ツール・ド・九州 2024 10月11日~14日開催



10月11日(金)小倉城クリテリウムを皮切りに、12日(土)大分ステージ、13日(日)熊本阿蘇ステージを経て、14日(月・祝)福岡ステージは岡垣町の岡垣サンリーハイから宗像市の「世界遺産」宗像大社まで、4日間で400km以上を走ります。

国際自転車競技連合(UCI)認定のサイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2024」が10月11日(金)から14日(月・祝)まで、国内外から有力選手が招聘され、福岡県、熊本県、大分県で開催されます。この大会開催100日前を契機として、7月3日「マイナビ ツール・ド・九州2024」100日前カウントダウンセレモニーが県庁ロビーで開催され、香原勝司議長、江口善明副議長、九州の自立を考える会の会長である藏内勇夫議員など、多くの議員が出席しました。

このセレモニーにおいて、香原議長は、「『マイナビ ツール・ド・九州2024』の開幕まで100日となりました。今年は岡垣町、宗像市を周回するコースとなっています。県議会といたしましても、大会の成功のため、そして県民の皆さまがスポーツを通じて幸福で豊かな生活を送ることができますよう、引き続き尽力してまいります」と述べました。



### WTT ファイナルズ福岡2024 11月20日~24日開催

11月、北九州市において卓球の国際大会「WTT ファイナルズ福岡2024」が開催されます。この大会は、2024年WTTシリーズの男子および女子の年間チャンピオンを決定する大会であり、日本選手が世界のトップ選手の中で活躍する姿をこの福岡県で見ていただける絶好の機会です。この大会では、世界で初めて男女シングルスおよびダブルスの大会が同時開催されます。

福岡県議会では、令和6年2月定例会の予算特別委員会において、委員より卓球の国際大会の誘致に向けてしっかりと進めるべきではないかと質しており、執行部からは、大規模スポーツ大会の開催は、福岡県が世界から選ばれ、注目されることで、県民の本県に対する愛情や誇りの醸成に繋がるため、卓球競技における国際大会の誘致についても、日本卓球協会や福岡県卓球協会はじめ、関係者と引き続き、協議を重ねていくとの答弁がされていました。



## トピック バレーボールネーションズリーグ 2024福岡大会が開催されました

6月4日~16日の約2週間にわたり、北九州市においてバレーボールの国際大会「VNL VOLLEYBALL NATIONS LEAGUE JAPAN FUKUOKA PREFECTURE」が開催されました。

開催に先立ち今年1月福岡県庁にて行われた開催地発表記者会見において、国際バレーボール連盟事務総長のファビオ・アゼベド氏(上写真 右から6人目)は、「今年のネーションズリーグが、福岡で開催されることをうれしく思います。福岡は、スポーツを通じて健康と幸福を促進するという私たちのコアバリューにも合致していて、ワンヘルスは素晴らしい事例だと思っています」と述べました。

このように、本県におけるワンヘルスの取り組みが開催決定の重要な決め手の一つとなっており、大会では、世界獣医師会次期会長である本県議会の藏内勇夫議員が始球式を行いました(左下写真)。

また、大会の最終試合終了後、国際バレーボール連盟のアナ・イヴァノヴィッチ氏らから香原勝司議長および服部誠太郎知事に対し、大会に使用された試合球の贈呈セレモニーが行われました(右下写真)。贈呈された試合球は、県内の公立や私立の高等学校へ寄贈される予定です。



6月定例会は、6月6日に招集され、6月24日まで19日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、「福岡県税条例の一部を改正する条例」など条例議案8件、専決処分したものについて報告し承認を求める議案1件、人事に関する議案7件、工事請負契約の締結に関する議案7件、人事に関する議案2件、委員会提出議案1件、計19件の議案が提出されました。

審議に当たっては、知事の政治姿勢、半導体分野における取り組み、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

6月定例会は、6月6日に招集され、6月24日まで19日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、「福岡県税条例の一部を改正する条例」など条例議案8件、専決処分したものについて報告し承認を求める議案1件、人事に関する議案7件、工事請負契約の締結に関する議案7件、人事に関する議案2件、委員会提出議案1件、計19件の議案が提出されました。

6月定例会は、6月6日に招集され、6月24日まで19日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、「福岡県税条例の一部を改正する条例」など条例議案8件、専決処分したものについて報告し承認を求める議案1件、人事に関する議案7件、

# 代表質問から

※ここに掲げている質問は、代表質問の一部を抜粋したもので、6月定例会時点での内容です。



自民党県議団

**A** Q 知事が議会に海外活動への同行を求める場合の目的と効果を伺う。  
1つ目は、知事と議会が一体となって取り組む姿勢を示すことで、熱意や手方に理解してもらうことにつながる。2つ目は、現地の人を招くイベント等で知事と県議会がホスト役として対応することで効果的なアピールにつながる。3つ目は、訪問先で県議会が知事とともに電話を聞き、現地の状況を見ることで、県の課題や施策の方向性への共通認識を持つ。あるいは、海外戦略の必要性等を理解して、円滑に施策を実行できる効果がある。引き続き、県議会と連携し、さまざまな政策の実現のため、海外活動に取り組む。

州知事との覚書を締結し、具体的な取り組みを進めたい。世界各国から2000人を超える専門家が参加する「ワールド・ワンヘルス・コングレス」の誘致に引き続き取り組む。

**Q 中学校で不登校を経験した生徒が県立高校で学びやすい環境を整備する「学びの多様化学校」の検討状況について伺う。**

**A** 今年4月に県教育委員会に準備チームを置き、学校の在り方を検討しており、特例クラスについては交通の利便性や施設面を考慮して、小郡高校のコースとして1学級設置したい。

同コースでは各自の興味関心や得意分野を伸ばす「自己探究」に加え、良好な対人関係を築くための「ソーシャルスキルトレーニング」、自分の将来を考え進路実現を目指す「キャリアアドバイザー」等、学校独自の科目を充実させる。また、不登校生徒の実態に配慮し始業時間も45分とし、個別指導に必要な教員やスクールカウンセラー等の重点的な配置を行なうなど、他の学校にない柔軟で手厚い支援体制を確立し、卒業までサポートする。

Q 今年2月に本県議会視察団がフランスの国際観疫事務局(WOAH)を訪問した際、10月にブラジルで開催されるイベントで、本県のワンヘルスに関する取り組みを広めたいという提案があった。実現に向けた知事の見解を伺う。

A WOAHは、世界保健機関、国連食糧農業機関、国連環境計画と共にワンヘルスを国際的に推進する「協力枠組み」を形成していると聞く。WOAHがどういったことを本県に求めているのか、本県として何ができるのかを、東京にあるWOAHのアジア太平洋地域事務所と協議していきたい。

Q 性的少数者が県パートナーシップ宣言制度により利用できる市町村のサービスについて、市町村間の偏りをなくすための方策とサービスを分かりやすく伝える取り組みについて伺う。

A 市町村が県の制度により行政サービスを利用可能とするかどうかは市町村が判断するため、宣誓者が利用できるサービスに違いが生じている。県は毎年開催している市町村人権啓発担当課長会議に

県のホームページでの周知に加え、今後、宣誓時に住んでいる市町村で利用できるサービスの一覧表を渡すなど、きめ細かな情報提供を行う。

**Q 教員の働き方改革なしに、教員不足をはじめ教育現場が直面する諸課題の根本的解決は実現できない。小中学校における今年度の教員未配置の数を、常勤・非常勤それぞれについて示し、昨年度の中途退職教員数と、それに対応して補充することができたのは何人か問う。**

**A** 5月1日現在で、必要な教員が確保できず未配置となっているのは、小学校では、定数欠で59人、産休・育休等の代替で80人の計139人。中学校では、定数欠で32人、産休・育休等の代替で31人の計63人となっている。

このほか、非常勤講師については、週3コマや12コマなどばらつきがあるが、未配置となっているのは延べ数で、小学校で104人、中学校で273人となっている。

また、昨年度中途退職教員への補充は、小学校で28人の退職者に対し21人、中学校で17人に対し10人である。

**A** 八女茶の有機栽培の生産面の課題と今後の対応への知事の考え方を伺う。

面積は約30ヘクタールで全栽培面積の2%弱。原因として、収量や品質面で病害虫の影響を受けやすい、有機質肥料の施用だけでは効果が安定しにくく八女茶の特徴である「うま味」を十分に出すことが難しい、周囲からの農薬の飛散防止が困難であることなどが生産面の課題。県は普及指導センターで、有機栽培に取り組む農業者に対し、使用可能な生物農薬の選定や有機質肥料の効果的な施用時期、有機栽培に適した圃場の選定等を指導。

農林業総合試験場では国や他県の研究機関、大学と連携し、収量や品質を向上でき、省力化が図られる有機栽培の実証試験を行っており、成果を早期に普及させていく。県として生産面の課題を解決し収量向上と品質の安定化を図り、需要の大きい欧米にプレミアム価格の八女茶の輸出拡大を目指していく。

ろには高校生や文系大学生にも分かりやすく半導体の役割や仕組みが学べる「半導体超入門講座」をeラーニングで公開する予定である。

**Q 福岡市の警固公園に集まる青少年は「警固界隈」と呼ばれ、麻薬や売春等の犯罪に巻き込まれている若者もいる。警固公園には交番があり、その隣に福岡市の集会所がある。福岡市と相談機能の強化に取り組んではいかがか。**

**A** 昨年度、県警と協力して警固公園を見回り、若者に声掛けを行った。警固公園に集まる若者は学校や家庭のことなど幅広い悩みを抱えていることから、「福岡県若者自立相談窓口」のチラシを渡して周知に努めた。今年度も引き続き実施する。同窓口では生活や就労をサポートする関係機関の情報を提供し、希望者は福岡市の福祉事務所や児童相談所につないでいる。同市とは継続的に意見交換し、今年度からは家庭や学校に居場所がない若者たちに同市のフリースペースを紹介している。さらに交番横の警固公園を安全安心センターを相談場所として活用していく。

Q 昨年の豪雨で被災した道路などの復旧状況と出水期前の対策および筑後川支流のハード対策の進捗、災害ボランティアについて伺う。

A 県が管理する道路河川、砂防施設の原形復旧は、全254カ所のうち168カ所で工事に着手、うち88カ所が完成。河川の改良復旧は全8河川で測量・設計を実施し、5河川で工事に着手。砂防施設は全7カ所で測量・設計を実施し、2カ所で工事に着手。出水期前にあたり浸水被害のあつた全ての河川で河道掘削などの対策を行つた。

筑後川支流の山ノ井川はパラペットの設置と橋梁架け替えが完了。金丸川、池町川はパラペットと地下調節池1カ所の整備を終えた。大刀洗川、陣屋川は河道掘削や調整池の整備を進めている。

災害ボランティアに対しては県と県社会福祉協議会、Fネットによる支援機能をさらに強化する。

Q 「新型コロナウイルス感染症対応の総括と記録」の公表と新たな感染症に備えた医療提供体制の確保、改正地方自治法について伺う。

て、大規模な災害や感染症のまん延等の非常時に国が地方公共団体に必要な指示を行う「補充的な指示」は、地方の自主性や自立性を十分に尊重することが前提と考える。行使すべきかどうかの判断は厳格な手続きのもとで行われるべきだが、改正法は極めて不透明。全国知事会と連携しながら地方自治の本旨が損なわれないよう国に求めていく。



民主県政県議団

いる行政サービスの情報



新開 昌彦

**A** センターは受講者の  
レベルに応じて開催して



樺島  
德博

感染症対応の総括と記録は県ホームページに掲載。

## 提出された議案

令和6年6月定例会では議案19件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

### ○条例議案 8件

- ・福岡県税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・地方活力向上地域における福岡県税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ・福岡県子育て応援基金条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県建築基準法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- ・福岡県警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### ○専決処分したものについて報告し承認を求める議案 1件

- ・福岡県税条例等の一部を改正する条例の制定について

### ○工事請負契約の締結に関する議案 7件

### ○人事に関する議案 2件

- ・教育委員会委員の任命について
- ・監査委員の選任について

### ○委員会提出議案 1件

- ・福岡県議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

## 可決された意見書、採択された請願

### 可決された意見書

- 農林水産業の経営安定のための物価高騰対策を求める意見書
- 優生保護法問題の早期解決を求める意見書
- インターナショナルスクールに対する財政支援を求める意見書
- 私学助成の拡充に関する意見書

### 採択された請願

- 私立小・中・高等学校への助成制度の拡充等に関する請願

## 6月定例会において「議場における呼称」を改正

改正前：議長の議員に対する呼称は性別を問わず「君」とする。

改正後：議長の議員に対する呼称は、「議員」とする。

## 代表質問を終えて

議会に海外活動への同行を要請する目的とその効果について質したところ、服部誠太郎知事からは県の課題や施策の方向性について共通認識を持つとともに、海外戦略の必要性や重要性を理解し、円滑に施策が実行できるという効果やこれまでの実績も踏まえ、引き続き、県議会の皆さんと連携を図りながら、本県の産業振興をはじめ、さまざまな政策の実現のため、海外活動に取り組んでまいると力強く答弁されました。

国内外からの観光誘客促進について、「よかバス」の開始により県内周遊バスツアーには、2カ月で約6千人の方が参加され、手ごたえを感じており、福岡観光の定番として定着させていきたいと考えている。欧州からのお客様についてもさまざまな取り組みを通じ、欧州での知名度向上とさらなる誘客を図つてまいると答弁されました。

我が会派の藏内勇夫相談役が、世界獣医師会次期会長に正式に決定され、世界を見据えたワンヘルスの今後の取り組みについて質したところ、知事は就任以来、ワンヘルスの世界的先進地を目指した取り組みを進めってきた。「ワールド・ワンヘルス・コングレス」の誘致に向け引き続き、県議会とともに誘致に取り組んでまいると答弁がありました。

学びの多様化学校の検討状況について教育長に質したところ、小郡高校のコースとして1学級設置する事や、教員配置やスクールカウンセラー等の重点的な配置を行うなど他の学校にない手厚い支援体制を確立するとの答弁を得ました。

最大会派として引き続き、県民の皆さまの負託に応えてまいります。

自民党県議団

民主県政県議団

公明党

新政会

服部誠太郎知事から、タイ王国領事館の福岡市への誘致実現など、県議会議員の海外視察が県政に寄与しており、今後も県議会とともに海外活動に取り組むとの発言を得ました。また畜産物の輸出拡大を視野にアーニマルウェルフエアに取り組んでいく災害対策として、新たな土砂警戒区域の調査を行うこと、ダムの事前放流、緊急放流が洪水被害軽減に効果的と回答されました。パートナーシップ宣誓制度は市町村によって偏りがあり、制度への理解を求めていくとの回答を得ました。

今後廃棄が増加する太陽光発電パネルのリユース、リサイクルを進めるとともに、ペロブスカイト太陽電池の県内の導入について検討すると表明され、十分な回答が得られなかつた保健福祉環境事務所の保健・環境部門と福祉部門の独立と保健所の体制強化については今後も知事を質していく予定です。

社会的に孤立する高齢者の支援のため、市町村と連携して取り組んでいくこと、孤独死・孤立死を防ぐため、「見守りネットふくおか」の包括協定締結事業者を増やしていくと知事が発言されました。

教育問題では、常勤の教員、非常勤講師とともに定数を満たす事ができており、小学校教員採用の志願状況も1・2倍と前年度と同率で改善が見られないこと、低迷している障がい者雇用を増やすため、新たな働き方を試行しているとされ、今後、現場の意見・実態を把握し、関係機関と連携して本県教育の充実に取り組むと教育長の決意を得ました。

教育問題では、教員不足が最重要課題だと指摘した上で、小学校における教科担任制のさらなる推進と特別免許状制度の活用を併せて取り組むことが、教員の負担軽減になり、ひいては教員不足の解決にも繋がるのではないかと教育長の考えを質しました。教育長からは、小中連携をいかしたモデル校での研究はあるが、今後、国に定められた教員不足の解決にも繋がるのではないかと教育長の考え方を質しました。

本県が先進的に取り組む「ワンヘルス」の活動は、環境問題や今後来るであろう感染症、そして自然災害への向き合い方の確かな指針になるものであり、この理念が広がることを冒頭願いながら質問を行いました。

公式訪問団等の視察については、その成果や透明化に触れた上で、海外戦略として重要な「地域外交」だと公明党福岡県議団は、半導体産業、水素産業の振興策を探るために①三次元半導体研究センター②福岡半導体リスキリングセンター③水素エネルギー製品研究試験センターから概要と課題を聴取し質問。知事からは、世界から選ばれる福岡を目指すとの答弁。さらに「生きづらさを抱える若者たちへの支援」をテーマに①東京都の「トータルキッズの相談窓口」②潜在化している対象者の早期把握について「NPO法人第三の家族のWEBを使用した支援ツール」③民間の支援団体の連携についての早期把握について「NPO法人BONDプロジェクトの全国を活動範囲とした取組」等先進事例を調査し知事に提案。知事から、相談窓口は福岡市とも連携していく。潜在化している対象者の把握は民間団体を参考に取り組みを始める。支援団体の連携は団体のネットワークを立ち上げると答弁。その他、「孤立孤独対策」「下水サーベイランス」「デコ活」「育児と仕事・介護の両立支援ボーナルサイトの活用」「人材確保に努力する建設業へ新たな評価制度を」「障がい者の小中高の切れ目のない取組」「投資詐欺・ロマンス詐欺対策」について知事、教育長、警察本部長に現場の声を届けることができました。

交通政策では、ライドシェアの課題を取り上げました。運転技術の問題や事故、犯罪に巻き込まれる懸念などがあることを指摘しその対応を質しました。知事が同行する効果について尋ねました。

公明党福岡県議団は、半導体産業、水素産業の振興策を探るために①三次元半導体研究センター②福岡半導体リスキリングセンター③水素エネルギー製品研究試験センターから概要と課題を聴取し質問。知事からは、世界から選ばれる福岡を目指すとの答弁。さらに「生きづらさを抱える若者たちへの支援」をテーマに①東京都の「トータルキッズの相談窓口」②潜在化している対象者の早期把握について「NPO法人第三の家族のWEBを使用した支援ツール」③民間の支援団体の連携についての早期把握について「NPO法人BONDプロジェクトの全国を活動範囲とした取組」等先進事例を調査し知事に提案。知事から、相談窓口は福岡市とも連携していく。潜在化している対象者の把握は民間団体を参考に取り組みを始める。支援団体の連携は団体のネットワークを立ち上げると答弁。その他、「孤立孤独対策」「下水サーベイランス」「デコ活」「育児と仕事・介護の両立支援ボーナルサイトの活用」「人材確保に努力する建設業へ新たな評価制度を」「障がい者の小中高の切れ目のない取組」「投資詐欺・ロマンス詐欺対策」について知事、教育長、警察本部長に現場の声を届けることができました。

## 一般質問から

※ここに掲げている質問は、一般質問の一部を抜粋したもので、6月定例会時との内容です。

### 自民党県議団



西元 健  
(築上郡・豊前市)



江頭 祥一  
(嘉麻市)

県内各地域から東京圏や福岡都市圏への転出は正に向けた取り組みを伺う。



A 就職期の20代前半は1979人の転出超過。能力や関心に合った雇用の機会を得られることが重要で、各地域の中小企業への支援、農林水産業や観光産業の振興などを進める。同時に、人口減少の幅が大きい豊筑地域と有明地域については大分県、熊本県とも意見交換し、県境地域全体の浮揚を図る。さらに女性の働き手が少なかつたITや建設分野などに就業の場を広げていく。



吉田 浩一  
(福津市)

本県の地産地消の取り組みを伺う。



A 学校や家庭での教育の推進や県産農林水産物の消費拡大に取り組んでいる。教育では、小学生を対象にした柿の皮むき体験、県産米や福岡有明のり等の農林水産物を学校給食に利用している。また、農林水産業の「応援ファミリー」を対象に、野菜の収穫やみそづくり等の体験、生産者との交流を実施。「地産地消応援の店」とともにメニューを開発している。今年度からは社員食堂の運営事業者と連携し、企業での地産地消の取り組みを実施している。

A 有明海の特性上、大型貨物船が満潮時にしか入出港できない状況になっている。国際コンテナ定期航路を運航する船会社から、現在就航している船を令和10年に廃船し、大型化する話があつた。国が実施しているしゅんせつを加速する必要がある。今年4月以来、国と問題意識を共有し、対応策を検討しており、引き続き協議を進めることとする。



三池港に、より大型のコンテナ船が入港できるよう水深を確保する必要があると考えるが知事の認識を伺う。

### 永川俊彦(大牟田市)

河川清掃など通の導入など市町村の行政サービスの先進事例を積極的に情報提供し地域の実情に応じた施策の横展開を促している。

府内関係部局が主催する会議などを通じて、AIオーデマンド交

通の導入など市町村の行政サービスの先進事例を積極的に情報提供し地域の実情に応じた施策の横展開を促している。

登録手続き等を示したパンフレットを国・県・市町村等の公共施設の窓口に設置するとともに、ホームページで河川愛護団体・企業の名称と活動している河川を一覧で紹介している。今後、団体・企業からのPRや活動している様子等を県ホームページやSNSを活用して情報発信することを検討していく。

A 県では多くの団体・企業に登録してもらうため、支援の内容や

年齢、障がいの有無、経済的な状況、居住する地域にかかわらず、等しく文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるよう環境の整備を進めなければならないと考える。



河川清掃などのボランティア活動を支援する「クリーンリバーワークス」の周知のための取り組みについて伺う。

A 県では多くの団体・企業に登録してもらうため、支援の内容や

年齢、障がいの有無、経済的な状況、居住する地域にかかわらず、等しく文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるよう環境の整備を進めなければならないと考える。

とある。



A 八女農業高校など研究協力校の成果を踏まえ、昨年度から全県立高校でワンヘルス教育を実施。今年度から農業高校9校を「ワンヘルス教育モデル校」に指定、栽培や飼育などの取り組みを重点的に実施し、県のワンヘルスフェスタ等で実践発表等をする。こうして取り組みを通じて各学校段階におけるワンヘルス教育の充実に取り組む。

**A 伺う。** くる取り組みを踏まえ今後ワンヘルス教育をどう推進していくのか

栗原 悠次  
(八女市・八女郡)

## 緑友会

**A 関して知事の所見を伺う。** 今回の県議会の南アフリカ視察は、県議会が独立した機関として調査や政策立案等の機能を果たすため、議長の下で視察の必要性や規模等を判断されて実施したものと考えている。

新開 嵩将  
(福岡市中央区)

## 日本維新の会

(5面から続き)

## 世界から選ばれる福岡県を実現するために

6月定例会の代表質問(本紙2~3面)では、本県議会の海外での活動の目的や成果などが取り上げられました。

本県は、地理的・歴史的にアジアとわが国を結ぶ玄関口としての役割を果たしてきました。

そして、この強みを活かした「国際化」と「国際交流」推進の取り組みが、本県の成長・発展の大きな原動力になってきたといつても過言ではないと思います。本県議会は、これまで、知事と連携し、また独自に、国際社会における本県の位置づけの向上と海外諸国・地域との政治、経済、文化、教育・スポーツ等、あら

ゆる面での交流促進のために国内外でさまざまな活動を行い、この取り組みの一翼を担ってまいりました。そして、これからも、「世界がビジネスや観光の目的地として福岡県を選び、福岡県が生み出すものが世界から選ばれる」、このような福岡県を実現するための活動を積極的に進めてまいりたいと考えています。

そこで、本県議会の海外活動の意義について県民の皆さんにご理解いただくため、議会改革の一環として、本紙をはじめさまざまな形で説明を充実させることになりました。今号より順次、本県議会の海外活動の目的や成果をご紹介してまいります。

海外視察等で得た知見や築いた関係を活かして政策提言し、実現するために

本県議会が海外で実施した先進事例等の視察調査や地方政府・議会との新たな協力・連携関係づくりのための訪問の成果は、議会質疑や本県議会の議員と九州の政財界有志でつくった政策研究団体、「九州の自立を考える会」による政策提言に反映されてきました。そして、これらの提言は、次々に実現しています。同会は2014年10月に政策提言集「九州の成長戦略」を公表。その後もさまざまな提言を行っています。

## スポーツ振興、スポーツ産業の振興」政策の提言

本県議会は、2019年に日本で開催されることが決まっていたラグビーワールドカップを視野に、2014年7月、南アフリカのラグビーアカデミー等を視察し、ワールドカップ開催の意義や世界トップレベルの選手の育成法、ラグビーキャンプ地に必要な条件等について調査しました。そこで、国際スポーツ大会やキャンプ地誘致が子供たちに与える効果やアスリート育成の専門的機関とプロコーチ活用の必要性を痛感し、国際的スポーツ大会とキャンプ地の誘致や専門家によるスポーツ振興の司令塔組織「九州スポーツ振興財団(仮称)」の設立等を提言していました。また、議会質疑では、このような取り組みのための基金の設置を求める提言もありました。

その後、地元の努力もあり、多くの国のキャンプを誘致でき、スポーツ振興財団の設立とスポーツ推進基金の設置が実現しました。



ロンドンのファンゾーン



博多駅前のファンゾーン

さらに、2015年にロンドンで開催されたラグビーワールドカップの視察では、競技場外に設けられたファンゾーンが大会を盛り上げ、ラグビーファンの獲得や経済面での効果が大きいことを確認し、議会質疑で本県での設置を提言。博多駅前に開設され、大勢の観戦者で賑わいました。

なお、ワンヘルスに関する海外活動がバレーボールネーションズリーグの誘致につながったことは、1面で紹介したとおりです。

より強固に  
長年の交流の絆を

2018年にタイ王国総領事館が福岡市内に開設されました。本県議会は、2007年にバンコク都議会と友好提携協定を締結し、長年にわたり相互訪問等の交流活動を継続していますが、県議会を表敬訪問されたアッタカーン総領事(当時)から、「長年の親しい友好関係と県議会の協力があり、福岡を選びました」との有難い言葉をいただきました。

## 「観光振興」政策の提言

海外の主要観光地では、現在、そのほとんどが、ホテル税等の徴収により観光振興財源を確保しつつ、観光地のブランド化とPRや事業者支援は、官民連携の誘客マネジメント組織(DMOと呼ばれています)が主体となって企画・実施し、かつ、広域的に行われています。本県議会は、2011年にアメリカのフロリダ州政府とVISIT FLORIDAというDMOを訪問し、その仕組みや現状を調査しました。また一方で、さまざまな海外での活動を通じて、九州の自然や食といった観光資源は、十分、世界に通用することが確信できました。

そこで、これらの知見に基づき、「九州の成長戦略」において、DMOの活動促進と財源の充実や観光行政推進のための新たな財源措置、世界遺産候補など地域独自の観光資源の開発、情報発信等に関する施策を提言していました。また、世界に九州の観光や産業の魅力を発信し、九州ブランドを確立するための統一ロゴマークの作成も提言していました。さらに、この提言や海外活動で得た知見を盛り込んだ「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」を制定し、九州観光の拠点として各県の観光資源とリンクした本県の観光戦略づくりを提唱するとともに、九州のDMOである九州観光機構との連携強化や宿泊税の創設を提言していましたが、これらの政策や提言は、次々に実現しました。

福岡県のインバウンドは、2016年度の239万人から2018年度に300万人を超え2023年度は473万人(全国4位)となりました。



世界の観光関係者が集まる「ツーリズム EXPO ジャパン」(2023)



(九州ロゴマーク)

県の重要施策の  
実現に貢献する

さらに、上記政策提言にも関係しますが、2017年7月、ポーランドで開催されたユネスコ世界遺産委員会で「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を決定。知事、議長および地元市長等が一体となって粘り強い要請活動を行った最高の結果でした。

# トピックス

## 全国高等学校総合体育大会 北部九州総体 総合開会式



7月26日、27日の2日間、秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、令和6年度全国高等学校総合体育大会ご臨席、併せて地方事情ご視察のため福岡県をご訪問になり、香原勝司議長は服部誠太郎知事とともに両殿下に随従しました。

両殿下ご臨席のもと、26日は、北九州メディアドーム（北九州市）にて自転車競技を、また、JAPAN BASE（福岡市）において、ラグビーの普及振興を目指す同施設の取り組みをご覧いただきました。27日は、福岡県立久留米スポーツセンター体育館（久留米市）にて、全国高等学校総合体育大会 総合開会式が開催されました。また、クローバープラザ（春日市）において、本県の「タレント発掘事業」および「パラスポーツタレント発掘・育成事業」が合同で実施する身体能力開発プログラムの様子をご覧いただきました。



### 全国議長会総会

7月24日、「第178回全国都道府県議会議長会定例総会」が東京都で開催され、本県議会から香原勝司議長が出席しました。

本会は、地方が抱える切実な課題等について本会独自に、また全国知事会等と共に地方六団体として政府に要請を行うほか、各都道府県議会の発展のため、調査・研究等を行っています。

総会では、「令和5年度決算の認定」および「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議」などの決議、また各委員会からの提言について審議が行われ、採決の結果、いずれの議案も原案のとおり可決しました。



7月24日、「第178回全国都道府県議会議長会定例総会」が東京都で開催され、本県議会から香原勝司議長が出席しました。

本会は、地方が抱える切実な課題等について本会独自に、また全国知事会等と共に地方六団体として政府に要請を行うほか、各都道府県議会の発展のため、調査・研究等を行っています。

総会では、「令和5年度決算の認定」および「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議」などの決議、また各委員会からの提言について審議が行われ、採決の結果、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

### 議会関係ハラスメント根絶のための議員研修



7月11日、県内市町村議会議員を対象とした「議会関係ハラスメントを根絶するための議員研修」を福岡市内にて開催し、300名を超える議員等が参加されました。冒頭、主催者である香原勝司議長は、「ハラスメントのない福岡県づくりと一緒に立ち上がっていただきたいと思っています」と挨拶しました。研修では上智大学法学部教授の三浦まり氏を講師にお招きし、「議会ハラスメントの防止に向けて」と題してご講演をいただきました。

### 県総合防災訓練



6月2日、令和6年度福岡県総合防災訓練が田川市および香春町で行われました。

訓練には県、地元自治体および消防本部、消防団、警察、自衛隊、地域住民など約1,400人が参加して行われ、県議会からも香原勝司議長、佐々木允副議長、総務企画地域振興委員会の吉田浩一委員長はじめ、多くの議員が参加しました。

今年の訓練は、平成29年九州北部豪雨以降、大雨特別警報が7年間で6度発表されるなど、毎年のように県内の広範囲が被害に見舞われた経験を踏まえ、複数の市町村が同時に被災したと想定し、2市町で同時開催しました。また、新たに、ヘリコプターによる孤立者およびペットの救出搬送訓練や、ドローンを活用した救援物資の輸送訓練などに取り組みました。



### 国への要望活動

6月26日および27日、香原勝司議長は服部誠太郎知事とともに、関係省庁を訪問し、世界・未来を見据えた成長・発展、感染症や災害に負けない強靭な社会づくり、将来の発展を支える基盤づくりなど、本県の県政推進のための提言・要望を行いました。



自見はなこ内閣府特命担当大臣（地方創生）



提言・要望書  
(県ホームページ)

### 能登半島地震 見舞金贈呈

令和6年能登半島地震により石川県において甚大な被害が発生しました。福岡県議会では被災された皆さま方の生活を少しでも支援しようと、県議会独自で見舞金を贈呈しました。

見舞金は全ての議員が拠出し、県議会として取りまとめたもので、5月20日、香原勝司議長が石川県東京事務所を訪問し、中谷安孝所長に目録と見舞状を手渡しました。

香原議長は、「この度の地震被害に対し、心からお見舞い申し上げます。本県議会は『人と動物の健康と、環境の健全性は一つ』と捉えるワンヘルスを推進しております。人と暮らす動物たちも等しく被災し、日常と異なる生活を強いられています。その点も踏まえ、被災者支援の一助としていただければ幸いです」と述べました。



# 新しい副議長が決まりました

6月  
定例会

令和6年6月24日の6月定例会閉会日に、副議長の選挙が行われ、江口善明議員（自民党県議団）が選出されました。



## 第87代 福岡県議会副議長

え ぐち よし あき  
**江口 善明**

自民党県議団  
(4期・久留米市・うきは市 選出)  
昭和49年3月26日生

## 就任にあたって

福岡県議会第87代副議長にご推挙を賜り、身に余る光栄でありますとともに、その責務の重大さを痛感しております。

微力ではございますが、香原勝司議長をお支えし、福岡県勢の発展と、県民の生活および福祉の向上に誠心誠意、努力してまいる所存でございます。

皆さまにおかれましては、今後一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

## 代表者会議

議会の行事に関する事項、議員定数に関する事項、改選に伴う初議会の運営に関する事項などについて協議します。



新開 昌彦 (公明党団長)	野原 隆士 (議会運営委員会委員長)	松尾 統章 (自民党県議団議長)	香原 勝司 (議長／自民党県議団会長)	江口 善明 (副議長／自民党県議団)	岩元 一儀 (民主県政県議団議長)	中嶋 玲子 (議会運営委員会副委員長)	樋島 徳博 (新政会会長)
------------------	-----------------------	---------------------	------------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	------------------

写真向かって右から

## 議会運営委員会

会期、議事日程、会期の延長・休会、議会関係の条規の制定・改廃など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議します。



写真向かって右から  
（◎印は委員長、○印は副委員長）

宮原 大田 江頭 渡辺 川端 大島 長後 藤嘉 村永 岛壹 岐和 香月	野原 中嶋 道人 裕海 道隆 玲子 香織 晋	原田 勝将 耕一 道人 道隆 玲子 薫	（公明党）
（新党政）	（民主党）	（自民党）	（自民党）
（自民党）	（自民党）	（自民党）	（自民党）
（自民党）	（自民党）	（自民党）	（自民党）
（自民党）	（自民党）	（自民党）	（自民党）

編集・発行

福岡県議会

電話 092-643-3825  
FAX 092-643-3825  
E-mail gsomu@pref.fukuoka.lg.jp

## 議会事務局の組織と問い合わせ先

※福岡県議会についてのお問い合わせは、議会事務局の各課・室までお寄せください。

### 総務課

- 議会の庶務、経理
- 本会議傍聴
- 議会棟見学など
- TEL 092-643-3823
- FAX 092-643-3825
- E-mail gsomu@pref.fukuoka.lg.jp

### 議事課

- 本会議、委員会などの運営
- 請願、陳情
- 会議録作成など
- TEL 092-643-3827
- FAX 092-643-3825
- E-mail ggiji@pref.fukuoka.lg.jp

### 調査課

- 議案、行政施策、法令等の調査
- 議会の広報
- 議長会議など
- TEL 092-643-3832
- FAX 092-643-3825
- E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

### 政策企画支援室

- 議員提出条例の制定・改廃
- 政策提言に係る企画支援など
- TEL 092-643-3806
- FAX 092-643-3825
- E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

※「ふくおか県議会だより」は新聞折り込みでお届けするほか、県の総合庁舎や各地区の県民情報コーナー、県立美術館、県立図書館、クローバープラザ、市町村の窓口、県内ローソン各店舗などにも置いています。

※「ふくおか県議会だより」は点字版およびデイジー版（音声版）CDも発行しています。ご希望の方は、県議会事務局調査課へご連絡ください。

※次号（第54号）の発行は、令和6年11月下旬を予定しています。

9/5(木)から  
9月定例会が  
始まります!

日程は右のとおりです。傍聴・視聴の際の参考にしてください。

## 9月定例会のスケジュール（予定）

- 9月5日(木)開会
- 9月11日(水)代表質問
- 9月12日(木)代表質問
- 9月13日(金)一般質問
- 9月17日(火)一般質問
- 9月18日(水)一般質問・決算委員会
- 9月19日(木)常任委員会
- 9月20日(金)常任委員会
- 9月24日(火)常任委員会
- 9月25日(水)本会議
- 9月26日(木)決算特別委員会
- 9月27日(金)決算特別委員会
- 9月30日(月)決算特別委員会
- 10月1日(火)決算特別委員会
- 10月2日(水)決算特別委員会
- 10月3日(木)決算特別委員会
- 10月4日(金)決算特別委員会
- 10月7日(月)決算特別委員会
- 10月9日(水)閉会

※本会議については、インターネット「福岡県議会中継」でご覧になれます。

## 広報紙編集委員

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 委員長 野原 隆士 (自民党県議団) | 副委員長 中嶋 玲子 (民主県政県議団) |
| 委員 渡辺 勝将 (自民党県議団)  | 後藤 香織 (民主県政県議団)      |
| 壹岐 和郎 (公明党)        | 中村 香月 (新政会)          |